

## 平成 26 年度第 2 回西脇市文化財保護審議会 会議録

- ◆開催日 平成 27 年 2 月 25 日(水)
- ◆時 間 午後 2 時開会 午後 3 時 45 分閉会
- ◆場 所 生涯学習まちづくりセンター
- ◆出席委員 小林会長 桂副会長 絹川委員 佐野委員 埴岡委員
- ◆欠席委員 瀧原委員
- ◆事務局 笹倉教育長 小西教育部長 森脇教育総務課長  
 榎原生活文化総合センター館長 菅澤

### 次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 報告及び意見交換
  - (1) 西脇市立西脇小学校校舎基本計画検討委員会の報告について
  - (2) 平成 26 年度文化財関係事業報告及び平成 27 年度事業予定について
- 5 その他
- 6 閉会

### 会議録

#### ○事務局

審議会に先立ちまして、平成 25 年 1 月に定められました「西脇市自治基本条例」に基づき、西脇市文化財保護審議会議事録を作成し、公開することになっていきますので、その記録を作る必要があることから、会議を録音させていただきますので、御了承をお願いいたします。また、瀧原委員は、所要で欠席でございます。

ただ今から、平成 26 年度第 2 回西脇市文化財保護審議会を開会いたします。

#### 会長あいさつ

#### ○会長

ご苦労様です。2, 3 日春らしい気候でありましたが、また、寒さが戻ってきました。本日は今年度 2 回目の文化財保護審議会になります。西脇小学校校舎基本計画検討委員会の報告と平成 26 年度文化財関係事業報告及び 27 年度の事業予定についてであります。また、西脇小学校の現場へも見に行きたいと思っています。本日はよろしく申し上げます。

#### 教育長あいさつ

#### ○教育長

11 月 13 日に第 1 回を開催し、色々ご示唆をいただきました。西脇小学校校舎の問題もおおむね結論がでましたが、今からでありまして、先日も県文化財課課長とも西脇小学校校舎のことを話しする機会がありました。資料館の人事のご意見も頂きましたが、将来を

見通した人選も必要であると認識している所であり、もうしばらく時間をいただきたい。  
お世話になりますが、よろしく願いいたします。

○事務局

資料の確認をし、会議の進行を会長にお願いする。

報告及び意見交換

○会長

(1)西脇小学校校舎基本計画検討委員会の報告について、よろしく願いします。

○事務局

別紙1，2資料に基づき説明する。 記述省略

○会長

中身の多い内容でありましたが質問ありましたら どうぞ。

○委員

別紙2の4ページ(4)にあります、木造校舎がより誇りを育む建物となるよう、文化財指定が可能な水準を有した改修とありますが、具体的に文化財指定のどのようなものを念頭に入れていますか。

○事務局

先進の学校の事例もありますが、検討委員会委員長の話では、県指定かそれ以上でありませんが、今後の課題ということでもあります。

○会長

校舎を改修した後、文化財的な価値として残るような可能性はありますか。

○事務局

今から教職員の意見を聞き、子供たちとワークショップをして、多様なところの相談をさせていただき、基本的な計画をしていく方向である。消防法や建築基準法等、法的にクリアしていく課題があるため、今からの条件によって異なってくるが、それらを念頭にに入れて整備計画していくことになります。

○会長

そういう形で残れば、後々補修したりする時に、補助金が出るようになるから、望ましいことは望ましい。

○事務局

子供たちの教育環境を良くすることが第一であり、その上で文化財指定できればよいと考えています。

○委員

検討委員会は答申を出してこれで終わっているのですか。今後予算をするにあたり、工程を見ていく専門家が、必要ではないかと思いますが。例えば、教授に参与してもらうことは考えられないのですか。

○事務局

教授に相談に行き、市の考えとして関わってもらいたいことをお話している所でありませぬ。

○会長

別紙2の4ページ(4)にあります、文化財関係者、多様な立場の人とありますが、どのような形で参加するのかわ。

○事務局

今からの話であります、市文化財保護審議会組織があり、一緒に携わってもらいたい、先生や子供たちとワークショップをしながら進めたい。

○委員

文化財保護審議会委員に建築部門の委員がないので、建築の専門家の方を委員として入っていただけなのかわ。

○事務局

文化財保護審議会委員として、検討していくべきであり、交渉することは前向きに考えていきたいと思ひます。

○会長

景観形成建造物でもありますので、小学校校舎を設計された人物などその関係者も含めてはどうか。

○事務局

そう言ったことも視野に入れ、大学に連携してもらふこと。一つの手法として建築、構造の専門家の方がおられますので、神戸大学等に関わってもらえればとの思ひももっています。

○委員

文化財の審議会というのが、何でも知っている人がいるというものではない。市民や市民の関係者の方々の意見をよく察知していると、今問題となっているのは、従来の文化財というのは、考え方としてお寺・お宮など建築物、内蔵している仏像等がかなり中心になっており、震災でも文化財の保護という限界が実際どこまでやれているかが問題で、どう修復するか。地元の人が建物の保護保存に関わっていることになります。かなりあちこちの学校で建造物に登録されている所が多くあるので、そういう道筋をある程度つけていたでいて、現時点で手を加えない保存というのが建築家の願目であろう。こうした大きな建物を耐震化工事して学校で使うこと稀である。あまり例がない、試金石みたいになるだろうと思ふ。小学校の木造建築が県景観形成建造物であり、踏襲して新しい文化財保存のケースとしてなんとか形が出来ればと思ふ。

○委員

校舎3棟保存という基本方針が決まったが、最低限でも市の文化財指定くらいは、念頭において、文化財の観念が少しずつ変わってきているので、うまくクリアできるよう神戸大学と地域連携して、うまくリンクして知恵が借りられるよう考えてもらいたい。

○会長

次に(2)平成26年度文化財関係事業報告及び平成27年度事業予定について よろしくお願ひします。

○事務局

別紙の平成26年度文化財関係事業進捗状況報告に基づき説明する。 記述省略

○会長

兵主神社拝殿の修理、応急処置については、どう考えているのか。

○事務局

本格的な修理までは応急処置をする方向であります。所有者さんも補助を要望されているので、応急処置を27年度補正予算で考えていければと思っていますが、今からの協議となります。

○会長

旧鍛冶屋線の跡、道路計画の羽安から国影にかけて埋蔵文化財調査について、どの範囲で調査をするのか。

○事務局

遺跡の範囲内として②野中・前遺跡と③国影遺跡が範囲内の為、発掘対象になります。ただし、周辺には羽安横長遺跡やハゼノ木遺跡があり、未調査個所に埋蔵文化財がある可能性が高い為、①から⑤の間でまず試掘調査が必要となります。

○教育長

文化財調査をしていく部分は、どうか。また、道の上古墳、大木城址については。

○事務局

図面により、今後路線全体の試し掘りをするところを協議していくことになる。これから市建設部の方と話をしていくことになります。

また、道の上古墳は県指定文化財であり、4世紀のもので、大木城址は、南北朝から戦国時代のものであります。そのほかに西脇市も山城が多くあります。

○会長

道路の名称、ランクはどうか。

○事務局

県道の中安田市原線でありまして、12月市議会で市道に認定する議案が出されたところでもあります。

○会長

それでは、次に平成27年度文化財関係事業予定について説明をお願いします。

○事務局ある

別紙の平成27年度文化財関係予定事業に基づき説明する。 記述省略

○委員

3 ページの県都市文化財保護行政連絡協議会について、どういうものですか。

○事務局

県下各市が会員となり、文化財の要望を取りまとめ、県知事に要望書を提出するもので、今年 12 月以降会長市が本市に当たるものであります。現在神戸市が会長市であり、昨年会議に出席しましたが 20 人少し参加されていました。

○教育長

古文書教室について、どういう方が参加されているのか。

○事務局

古文書に興味を持たれている人が参加されており、20 人程度の人数で、5 回開催しています。市外からも参加者があり、何人かは若いと思える方もおられます。継続して参加されている方が多い状況です。

○教育長

後継者になるような人はおられますか。

○事務局

そういった人としては、見ていませんので何とも言えません。

○委員

古文書教室の題材についてはどうですか。

○事務局

播姫太平記であり、加古川流域の一揆もので、三木家住宅の持っておられた方から出てきたものを使用されているので、私も参加しましたが加古川流域の地名が出てきて面白く感じました。

○委員

地元資料の活用、存在も参考にできればいいのになあとと思います。

○教育長

調査研究資料購入の中身は考えてあるのか。

○事務局

購入のタイミングがあり、西脇に関するものあれば、外に流れるようなことなら、購入を考えること必要であると思っています。

○教育長

ベースボール今里純氏の件についてはどうか。

○事務局

事務を引き継いでからは、動きがない状況です。資料館としてもどうするのがよいのか品物類を仮置きしている状況です。具体的には何も変わっていないものです。

○教育長

預けたと言われる人もいるし、気になっている状況である。

○事務局

昨年から預かっている状況から、進展していないところです。

○委員

報告の中で小学校児童の体験学習をしたり、中学校の訪問授業を聞きましたが、学校からの働きかけですか。

○事務局

「むかしの道具展」には、学校へチラシを配布していますので、学校から連絡を頂き訪問日を決定し、市内外の小学校 11 校から 3 年生児童が見学に来ました。また西脇中学校のゲストティーチャーでは、新任の先生達が 4 月に研修で資料館を施設訪問され、その一人の先生から歴史学習の依頼があり、文化財担当者が了解し、授業をしたものであります。

○委員

良いことなので、単発でなく恒常的に継続して行っていただきたいと思います。

○事務局

先日も中学校生徒から感想文をもらい、地元のことを知るきっかけになったとの意見を多く頂き、うれしく思いました。また、他の中学校へも訪問できればと考えています。

○委員

姫路市が市内の中学校生徒に公募して、黒田官兵衛のパンフを作成し、金、銀、銅賞を与え、生徒に興味を持ってもらう取り組みをされていました。また、夏休みの自由研究などで取り組めればと思います。

○委員

荘厳寺の多宝塔修理事業 本堂に上がる参道谷川沿い、側道工事車両の進入あるが、狭い道であるので、土砂が崩れやすい部分で右手山麓の土地は、14～15 世紀の骨が残っている、多くのお骨が納められた土地でもあり、8～9 世紀頃になるが、もちこし墓という古い墓地があります。工事する時に、少し気に留めてもらっておくことが良いのではないかと。

○事務局

工事にあたり道路を広げる等あれば、現状を把握し注意をしておきたいと思います。

○会長

他には、ありませんか。それでは、その他にいけます。

その他について

○事務局

委員より何点か質問を頂いていますので、その件で報告します。 記述省略

○委員

市民委員の公募というのは、年度目標は特に決めていないのか。

○事務局

この文化財保護審議会については、専門的な知識も必要とするため、公募対象者を明確にしておく必要もあり、十分検討協議してから対応したいと考えます。

○会長

審議会に傍聴はあまり聞いたことはないと思うが。今は市ホームページがあり、浸透しているから、関心ある人はそれを見ることができることもある。

閉会

○副会長

ご審議ありがとうございました。教育委員会の方も木造建築等難しい問題が多くありますが、地域の住民のため、地域文化ということで、よろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。